

… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…

【吸収合併】子会社のアド通信社西部本部を吸収合併

岐阜地区北支部：(株)中広 管理本部総務部長 後藤健次郎

同社は、子会社のアド通信社西部本部を4月1日付で吸収合併、九州エリアでの両社の営業活動を統合し、効率的な経営を目指す。
(2023. 2. 28 岐阜新聞掲載)

【経営計画発表会】第47期経営計画発表会開催

岐阜地区北支部：税理士法人TACT高井法博会計事務所 会長 高井法博

税理士法人TACT高井法博会計事務所を中核とするTACTグループは、岐阜市内のホテルで第47期経営計画発表会を開催、社員ら約120名が出席した。
(2023. 2. 28 岐阜新聞掲載)

【事業強化】情報セキュリティ事業を強化

西濃地区中支部：中部事務機(株) 支店長 岩田昇

同社は、昨年販売したセキュリティ対策自社商品『照～TERASU～シリーズ』を今後は業種別などのニーズに対応させて提案、またセキュリティ人材の育成支援サービスを開始するなど、情報セキュリティ事業を強化する。
(2023. 3. 3 中部経済新聞掲載)

【新企画】来店客に『御菓印(ごかいん)』配布

西濃地区南支部：(株)榎谷 代表取締役 堀富則

同社は、全国銘産菓子工業協同組合が企画し、全国40店近くが参加している『御菓印』を来店客に配布する。『御菓印』は、店名や印をあしらった御朱印風のものやデザイン性の高いものなど、各店がそれぞれ独自に考案。同社は大垣市出身の日本画家・守屋多々志氏が描いた下記の絵を使用している。
(2023. 3. 8 岐阜新聞掲載)

【地域貢献】私募債を活用して、操外科病院に体重測定ベッドを寄贈

岐阜南支部：日本ウェストン(株) 取締役 白井大貴

同社は、発行手数料の一部を指定先の寄贈に充てる『じゅうろくSDGs私募債』を活用し、地域医療に役立ててほしいと、操外科病院に体重測定ができるベッドを寄贈した。
(2023. 3. 8 岐阜新聞掲載)

【組織強化】顧客のDXを支援する推進室を新設

西濃地区南支部・岐阜地区南支部：サンメッセ(株)

同社は経営企画室にDX推進室を新設、営業本部のソリューション企画部を情報・コミュニケーション企画部に改称する等、機構改革と人事を発表した。
(2022. 3. 11 岐阜新聞掲載)

【地域貢献】笠松町と災害時の協定締結

岐阜地区各務原支部：生活協同組合コープぎふ 理事長 大坪光樹

同組合は笠松町と、災害時に食料品や日用品などを供給する協定を締結した。災害発生時、町の要請に応じて、取扱商品を避難所に運び込む。
(2023. 3. 17 中日新聞掲載)

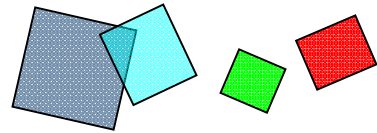
【SDGs】使用済みカイロを回収し水質浄化剤へ

岐阜地区南支部：三承工業(株) 潮大地

同社が運営する雑貨店『SUNDY sGOOD』は、介護施設等から使用済みカイロ1300個を回収、大阪市の企業が展開する海や池の水質を改善するプロジェクトに提供した。
(2022. 3. 18 岐阜新聞掲載)

勇 気 凛 凛

ゆう き りん りん⁶⁶



… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…

【地域貢献】創業 80 周年を記念して『タガフープ選手権』開催

岐阜地区北支部：(有)YS コンサルティング 取締役 斎藤由美

子育て支援を行う NPO 法人子どもトリニティネットは、さまざまな立場の人たちと身近な目標を設定して SDGs につなげる取り組み『ぎふミライプロジェクト』を立ち上げた。パートナー企業である同社は、共同で県産野菜を使用したスープの開発を行い、スタートの活動としてスープ 10 袋と絵本約 20 冊を乳幼児ホームまりに寄贈した。
(2023. 2. 11 岐阜新聞掲載)

【新商品】主力商品『スタミナ1番』のシリーズに『スタミナ1番レッド』販売

飛騨地区：山一商事(株) 代表取締役 山下喜一郎

ナメタケを使った同社の主力商品『スタミナ1番』シリーズに、唐辛子をふんだんに使った『スタミナ1番レッド』を新たに追加した。レギュラー商品の2倍の量の唐辛子を使用している。小売価格は280グラムで600円台になる見込み。調味料としても活用できる。
(2023. 2. 15 中日新聞掲載)

【地域貢献】岐阜スーパースの選手が笠松町のあいさつ運動に参加

岐阜南支部：岐阜バスケットボール(株) 代表取締役 那須史明

バスケットボールBリーグ3部の岐阜スーパースが笠松町のあいさつ運動に参加、2月16日、選手8人が小学校3校の校門に立ち、登校する児童たちとひじタッチで挨拶を交わした。
(2023. 2. 18 岐阜新聞掲載)

【人材育成】地元工業高校での出前授業、インターンシップ受け入れなど、人材育成に注力

中濃地区加茂支部：ライン生コン(株) 専務取締役 横関康史

同社は、少子高齢化と若手人材不足に対処するため若手人材育成に注力。可児工高とは「技術者育成に関する連携協定」を締結、インターンシップも受け入れている。また、関商工高には出前授業を行うなど、社会貢献の観点からも引き続き、地元工業高校生の支援を続けていく。
(2023. 2. 18 中部経済新聞掲載)

【働く環境づくり】残業削減・休日増に取り組む

岐阜地区北支部：(株)歩設計 代表取締役 吉田和也

同社は、業務データのクラウド上での管理やBMI（建物の設計や構造計算、施工、管理情報などの一元的な管理）、ドローンによる空撮などの取り組みを積極的に導入。その結果、残業減、休日増、社員の意欲向上など、生産性向上につながっている。今後、さらに作業効率アップをめざし、若手教育にも注力していく。
(2023. 2. 25 岐阜新聞掲載)

【フェア】『いちごスイーツフェア』開催

西濃地区南支部：(株)槌谷 代表取締役 堀富則

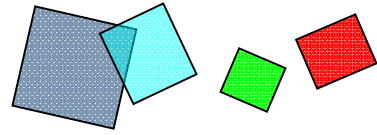
同社は、三城店、赤坂店、アル・プラザ鶴見店で、3月31日まで『いちごスイーツフェア』を開催する。新製品の「いちご生クリームどら焼き」「今旬いちご大福 揖斐抹茶」をはじめ、6種のスイーツを販売する。
(2023. 2. 27 中部経済新聞掲載)

【新事業】従業員をDX人材に育成する伴走型支援サービスを開始

西濃地区中支部：中部事務機(株) 支店長 岩田昇

同社は、さまざまな企業で働く従業員をDX人材に育成する伴走型支援サービス『ぎふデジタル人材育成プロジェクト』を開始した。5年間で200社へのサービス提供を目指す。
(2023. 2. 28 岐阜新聞掲載)

勇 ゆう 気 き 凛 りん 凛 りん⁶⁵



… コロナ禍
… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…

【イベント】創業 80 周年を記念して『タガフープ選手権』開催

岐阜地区南支部：山川醸造(株) 代表取締役 山川晃生

同社は、たまり醤油をつくる際に木桶を利用しているが、その木桶を絞める「たが」をフラフープに見立て、回す回数を競う『タガフープ選手権』を行った。山川社長は、木桶職人の激減に危機感を抱き、2012年に「木桶職人復活プロジェクト」を立ち上げていることもあり、今回、創業 80 周年を記念して、初めて県予選を開催。小豆島で開かれる世界選手権の出場をかけて、県内外から 15 人が出場した。

(2023. 1. 22 中日新聞・岐阜新聞掲載)

【認定】日本インダストリアルデザイン協会『デザインミュージアムセレクション』に認定

中濃地区関美濃支部：(有)シオン 代表取締役 山田健

同社が製造販売する保存容器『canister-s』が、優れたデザインをたたえる『デザインミュージアムセレクション』に選ばれた。美濃市のふるさと納税返礼品にもなっている『canister-s』は、直径 7 cm、高さ 12 cm の円柱型。上部にある栓を開めることで完全に密閉でき、片手で使う機能性も重視されている。

(2023. 2. 1 中日新聞掲載)

【地域貢献】岐阜スүүプスが各務原市と連携協定

岐阜南支部：岐阜バスケットボール(株) 代表取締役 那須史明

バスケットボール B リーグ 3 部の岐阜スүүプスは、各務原市とバスケットボールの普及と地域活性化に取り組む連携協定を結んだ。既に、小学校入学祝いとしてスүүプスのクリアファイルを配布したり、20 歳になる市民を試合に無料招待することなどが決まっている。

(2023. 2. 3 岐阜新聞掲載)

【総会・講演会】顧問先でつくる経友会の賀詞交歓会を開催

岐阜地区南支部・中濃地区可児支部：税理士法人 NEXT 所長 一川明弘・社員税理士 田中弘郎

同法人は、顧問先でつくる経友会の定時総会、講演会、賀詞交歓会を岐阜市内のホテルで開催、約 100 人が出席した。

(2023. 2. 4 岐阜新聞掲載)

【イベント】恒例の『立春朝搾り』開催

岐阜各務原支部：小町酒造(株) 常務取締役 金武直歩

『立春朝搾り』は日本名門酒会が立春に行う縁起物の行事。今年は 43 蔵が参加、県内は小町酒造のみが実施した。蔵では未明から従業員総出の作業が続き、この日だけの限定ラベルが貼付された純米吟醸『長良川』が、720ml 瓶換算で約 2,500 本出荷された。

(2023. 2. 5 岐阜新聞掲載)

【聞き書き集発行】平和を願い『戦争体験聞き書き 第 17 集』発行

岐阜地区各務原支部：生活協同組合コープぎふ 理事長 大坪光樹

当協組は岐阜新聞社・岐阜放送と共催し、2005 年から毎年作文を募集、戦争体験者の声や平和への願いを冊子にして発行しているが、第 17 集は 22 編の戦争体験が集まった。県内の公立図書館などに寄贈するほか希望者には 350 円で販売し、売り上げは、コープ岐阜の平和募金に繰り入れる。

(2023. 2. 20 岐阜新聞掲載)

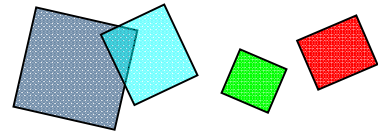
【組織強化】顧客のDXを支援する推進室を立ち上げ、新事業の柱に

西濃地区南支部・岐阜地区南支部：サンメッセ(株)

同社はDX推進室を立ち上げ、顧客のデジタルトランスフォーメーションを支援する体制を強化する。2024 年 3 月期には社内のペーパーレス化やデータベース活用などのDXを進めて効率化や経費削減を図り、顧客に提案するDX事業を自社でも施行できる体制を整える。

(2022. 2. 11 岐阜新聞掲載)

勇氣凛凛⁶⁴



コロナ禍

… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…

【開設】名古屋駅前に全国8か所目となる「名古屋オフィス」を開設

西濃地区中支部：(株)ユニテック 代表取締役 古堅宗信

同社は、人材を全国から集めるため、採用の拠点として名古屋オフィスを開設、人事採用機能を移管する。取引先から求められる業務量に対応し、近年需要が高まっているソフト開発事業の強化をめざす。

(2023. 1. 5 中部経済新聞掲載)

【新商品】新商品『和栗羊羹』を期間限定販売

西濃地区南支部：(株)榎谷 代表取締役 堀富則

同社は、蒸した栗と寒天を合わせ、さらに栗の甘露煮を入れて炊き上げた『和栗羊羹』を販売する。1本1,200円、2本入り2,690円（税込）。1月下旬までの限定販売。

(2023. 1. 11 中部経済新聞掲載)

【社会福祉】中部善意銀行にチャリティーオークションの売上金を寄託

中濃地区加茂支部：ライン生コン(株) 専務取締役 横関康史

同社は、社会福祉に役立ててもらおうよう、グループの新年チャリティーオークションの売上金222,824円を中部善意銀行に寄託した。

(2023. 1. 14 中日新聞掲載)

【社会貢献】子どもや若者を支援する認定NPO法人『ぎふハチドリ基金』に寄付

岐阜地区南支部：(有)ウメイチ 代表取締役 梅田益生

成人式の着物レンタルなどを利用した新成人一人につき100円を『ぎふハチドリ基金』に寄付している同社は、今年は1,442人分の14万4,200円を寄付した。今回が6回目の寄付。

(2023. 1. 18 中日新聞掲載)

【新商品】初の海外限定商品『ROUND SHAPE』を市場投入

東濃地区：(有)鈴研 陶業 代表取締役 鈴木耕二

同社は、美濃焼タイルのバングル、リング、イヤリング、ピアス、ネックレスの5種類各15色をそろえた『ROUND SHAPE』を、初の海外限定商品として市場投入する。小売価格は50ユーロ（約7,000円）が中心。販売拡大に向け、仏パリで開かれる欧州最大級の見本市『メゾン・エ・オブジェ』に出展する。

(2023. 1. 18 中部経済新聞掲載)

【イベント】購入者の開運とコロナの収束を願い、「のり」の祈禱

西濃地区南支部：(株)デリカサイト 代表取締役 堀富則

同社は、大垣市の成願寺宝光院にて、節分用の恵方巻に使用するのりの祈禱を行った。恵方巻は同社の店舗やグループの料亭などで販売。飛騨牛のしぐれ煮や海鮮巻など、バリエーションを拡充して製造販売する。

(2023. 1. 18 中部経済新聞掲載)

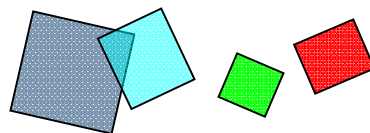
【季節商品】7種類の具材を使用した恵方巻の予約受付

西濃中支部：(株)フォーラムホテル（揖斐川工業(株)） 営業部長・外店事業部長兼任 山本幸二

大垣フォーラムホテルは、県産ハツシモや7つの国産食材を使った恵方巻を予約販売する。1本1,300円で限定千本。合わせて恵方巻にちなんだロールケーキ『恵方ロール』も、1本1,400円・限定300本、販売する。予約はホテルのウェブサイト、もしくは電話にて。

(2023. 1. 21 中日新聞掲載)

勇氣凛凛⁶³



コロナ禍

… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…

【講演会】『おとなの健康大学』を開催

岐阜地区各務原支部：生活協同組合コープぎふ 理事長 大坪光樹

同組合は、12月7日にシニア世代が健康について学ぶ『おとなの健康大学』を開催。認知症予防について、おくむらメモリークリニックの奥村歩院長が講演し80名が参加した。また会場には、野菜摂取量を測定する「ベジチェック」など、健康への意識を高めるブースも設置された。（2022.12.8 岐阜新聞掲載）

【地域貢献】岐阜スウーps主将が一日署長を務める・小学校で出前授業

岐阜南支部：岐阜バスケットボール(株) 代表取締役 那須史明

バスケットボールBリーグ3部の岐阜スウーps・荒川凌矢主将が岐阜羽島署の一日署長を務め、同署とカラフルタウン岐阜において、交通事故やニセ電話詐欺被害の防止を呼びかけた。（2022.12.13 中日新聞掲載）

藍川小学校で、岐阜スウーpsの選手やコーチが出前授業を行った（2022.12.21 中日新聞掲載）

【新シリーズ】看板商品の明宝ハムを超える新シリーズ『郷の宝』発売

中濃関美濃支部：明宝特産物加工(株) 代表取締役 蒲昌範

同社は、国産豚のロースやウデも贅沢に用いた高品質な『郷の宝』シリーズを販売する。ロースハムと、ソーセージのシンケンヴルスト、ピアヴルストの3種で1セット。本社工場直売店や道の駅明宝の物産館、自社インターネット通販サイトなどで販売する。税抜8,480円。（2022.12.14 中日新聞掲載）

【地域貢献】岐阜工業高校にシューズボックスを寄贈

岐阜南支部：和光通信(株) 代表取締役 森本豊

同社と十六銀行は、発行手数料の一部を指定先の寄付に充てる『じゅうろくSDGs私募債』を活用。同社の従業員の3分の1近くが岐阜工業高校出身であることから、同校に12人用シューズボックス2セットを寄贈した。（2022.12.14 岐阜新聞掲載）

【表彰】『ディスカバー農山漁村の宝』選定

中濃地区加茂支部：(株)山共 代表取締役 田口房国

農林水産省が地域の活性化に取り組む優良事例を表彰する『ディスカバー農山漁村の宝』第9回東海農政局選定分のコミュニティ・地産地消部門に、同社が手がけるキャンパー向け森林レンタルサービス『forenta』が選ばれた。（2022.12.15 岐阜新聞掲載）

【受賞】創業50周年記念ポスターが『APAアワード2023』グランプリ受賞

西濃地区養老支部：養老ミート(株) 専務取締役 田中芳典

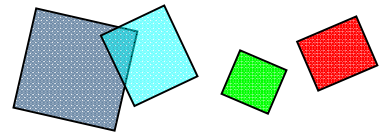
同社が創業50周年を記念して制作したポスターが日本広告写真家協会主催の『APAアワード2023』グランプリを受賞した。縦約1メートル・横約4.4メートルのワイドと、それを3分割した3枚との計4枚組の作品で、飛騨牛をほぼ原寸大で写したものを、本店で掲示する他、来年2月出版予定の『年鑑 日本の広告写真2023』の表紙を飾る。（2022.12.18 岐阜新聞掲載・12.21 中日新聞掲載）

【アイデア商品】3点支持のデザインを応用した写真立ての売り上げ好調

岐阜地区南支部：(株)トクエー 代表取締役 徳永崇

同社は、3点支持のデザインを応用し脚が落ちることなく収納できる木製写真立てを考案、関東エリアの写真店チェーンを通じて販売している。特許も出願、現在、アウトドア分野への応用にも取り組むなど、技術を展開していく。（2022.12.20 岐阜新聞掲載）

勇 ゆう 気 き 凛 りん 凛 りん⁶²



コロナ禍

… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…

【認証】本年度の「事業可能性評価事業」において、最も優れた A 評価認定

中濃地区可児支部：(株)F-tec 代表取締役 藤井啓栄

同社は、県産業経済振興センターによる事業の有望性や技術の発展性などの総合評価において、今年度、最も優れた A 評価を受けた。（2022. 11. 30 岐阜新聞掲載）

【新セット商品】木升で楽しむ和紅茶セット『大和紅茶』販売

西濃地区中支部：(有)大橋量器 代表取締役 大橋博行

同社は平塚香貴園とコラボし、木升で楽しむ和紅茶セット『大和紅茶』を販売した。茶葉はヒノキの香りに合うよう独自に加工、升の材料は建築材の端材使うなど環境にも配慮した商品。飲み口を丸く加工した一合升と 30g 入りの茶葉、茶葉一杯分を測る小升、フィルター5枚のセットで3,850円。（2022. 11. 30 中日新聞掲載）

【認定】厚生労働大臣『もにす』認定

中濃地区関美濃支部：(株)東海化成 代表取締役 景山昌治

同社は今年度、障がい者の雇用促進、安定雇用の取り組みが優良な事業者を厚生労働大臣が認定する『もにす』の認定を受けた。県内事業者の認定は4件目、中濃地域では初の認定となった。

（2022. 11. 30 中日新聞掲載・12. 2 岐阜新聞掲載）

【外国選手加入】岐阜スーパースにリトアニア出身のマタス・ユツィカス選手新加入

岐阜南支部：岐阜バスケットボール(株) 代表取締役 那須史明

バスケットボール B リーグ 3 部の岐阜スーパースに、今季、リトアニア出身のマタス・ユツィカス選手が新加入した。マタス選手は身長 205 センチのセンター。リトアニアとの親交が深まることも期待される。

（2022. 12. 1 岐阜新聞掲載）

【オープン】家事の負担軽減と防災を重視したモデルハウスをオープン

岐阜地区南支部：三承工業(株) 潮大地

同社は、各務原市に木造 2 階建て延べ 105 平方メートルのモデルハウスを建設、12 月 3 日にオープンした。家事の負担軽減と防災を重視した住宅で、南側の庭には、木田小学校の児童が被災時を想定して考えた庭作りのアイデアが採用されている。

（2022. 12. 3 岐阜新聞掲載）

【新商品】「推し活」向け、好みの写真を並べて飾る額発売

岐阜地区南支部：(株)やまもく 代表取締役 山田等

同社は、横約 110 cm、縦 31 cm で L 型の写真を 10 枚並べて飾ることができる額を自社サイトやインターネット通販にて販売する。5,500 円。またトレーディングカードが 10 枚並べられる額も製造、愛好家の需要に応じていく。

（2022. 12. 7 中日新聞掲載）

【冬期休暇】中部主要企業の冬期休暇調査で、昨年に引き続き最長の 17 連休

西濃地区東支部：未来工業(株) 代表取締役 山田雅裕

中部経済新聞社は、中部の主要企業 52 社・61 事業所を対象に冬期休暇状況を調査。同社は 17 日で、昨年に引き続き最長となった。

（2022. 12. 7 中部経済新聞掲載）

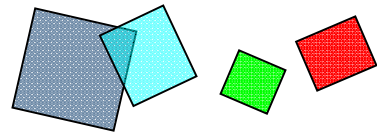
【セミナー開催】インボイス制度対策セミナー開催

岐阜地区南支部・中濃地区可児支部：税理士法人 NEXT 所長 一川明弘・社員税理士 田中弘郎

同法人は、2023 年 10 月にスタートするインボイス制度についてセミナーを開催した。県内企業の総務、経理担当者 35 名が参加、社会保険労務士による改正育児介護休業法の解説もなされた。（2022. 12. 7 岐阜新聞掲載）

勇 気 凛 凛

ゆう き りん りん ⑥1



コロナ禍

… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…

【イベント】県産有機栽培野菜を使った朝食を提供するイベント開催

西濃地区南支部・岐阜地区南支部：サンメッセ(株)

同社を中心に長良川中流域における持続可能な観光エリアの構築をめざす『長良川流域クアパークリゾート推進共同体』は、11月22、23両日、岐阜市内の宿泊5施設で、県産有機栽培野菜を使った朝食を提供するイベントを開催する。9日には、各料理長と農家らが集まり、ミーティングを行った。

(2022. 11. 10 中部経済新聞掲載)

【出店】11月12、13日開催の『みずなみマルシェ』に『鬼まんじゅうの満開堂』出店

東濃地区：美濃廣庵 代表 成瀬廣晃

同社はイオンモール土岐で開催される『みずなみマルシェ』に『鬼まんじゅうの満開堂』を出店する。満開堂は、ヨモギやカボチャなど自然素材のオニまんじゅう6種類を製造販売しているが、今回は人気の3種類を販売する予定。店頭で蒸し上げ、出来たてを提供する。1個税込250円。(2022. 11. 11 中部経済新聞掲載)

【目標達成】中国『独身の日』に62億円の売り上げ

岐阜地区北支部：ARTISTIC&CO. GLOBAL 代表取締役 金松月

中国におけるネット通販の大型セールの日『独身の日』に、同社は62億円の売上を達成した。主力モデルである『ゼウスⅡ』の写真家・蛭川実花さんとのコラボセットを限定販売したほか、大手プラットフォームや中国版TikTokの活用を強化。前年より約12億円アップ、また目標の60億円を大幅に上回った。

(2022. 11. 15 岐阜新聞掲載)

【地域貢献】大垣商高生による弁当を企画・販売に協力

西濃地区南支部：(株)河合寿司 代表取締役 河合敏直

大垣商業高校総合ビジネス科マーケティング類型の3年生30人は、同社の協力で弁当の企画・開発・販売の流れを学び、『ちょい寿司手まり』『いなりまる』の2種を開発。同社が製造を担い、生徒たちは11月19、20日、養老鉄道養老駅と樽見鉄道本巣駅で販売実習を行った。

(2022. 11. 20 岐阜新聞掲載)

【新企画】酒蔵内で古酒を活用した有料サービス開始

岐阜地区北支部：(資)白木恒助酒店 代表社員 白木滋里

同社はこれまで無料で試飲を行っていたが、提供できる商品に限りがあるため、食品衛生責任者の資格を取得、有料提供をスタートさせる。金額に応じたビンテージの古酒の飲み比べや記念日に生まれた年にちなんだビンテージ古酒を1杯飲むといったサービスなどを提供し、古酒の魅力をアピールしていく。12月から。要予約。

(2022. 11. 22 中部経済新聞掲載)

【地域貢献】児童養護施設の退所者支援に30万円寄付

岐阜南支部：アース・クリエイト(有) 常務取締役 足立雅一

岐阜市は本年度、児童養護施設の退所者に生活費など20万円を支給する事業を開始。同社は個人や企業への寄付金の呼びかけに応じ、30万円を寄付した。企業では最初の寄付者。

(2022. 11. 30 中日新聞掲載)

【新ブランド】新ブランド『That's my home』立ち上げ

中濃地区加茂支部：(株)フクモク 代表取締役 福井寿典

同社はこれまで、高性能住宅、造り付けオーダー家具による注文住宅を手がけてきたが、さらに意匠性を加えた住宅ブランド『That's my home』を立ち上げ、美濃加茂市内にモデルハウスをオープンした。岐阜県商品開発研究所が住宅と家具のデザイン、設計を担い、同社が施工する。

(2022. 11. 30 岐阜新聞掲載)